

子育て世帯をサポート

暮らし × デジタル

子どもの健康記録って大変...
子どもにいろいろな体験をさせたいんだけど...
家庭でのオンライン学習が不安...

DXパッケージ2022	2023	2024
<ul style="list-style-type: none"> 子育てアプリの導入を検討 ひとり一台パソコンの安全な持ち帰り GIGAスクール運営支援センターの設置 民間保育所等のICT化を支援 		

私たちがの思い
○子育て世帯の負担や不安を減らし、パパママのゆとり時間を増やしたい ○学校に通えない状況になっても、一人ひとりに寄り添い、安心して学習してほしい

【子育てアプリ】
子育て関係のサービスがスマホで利用でき、便利で簡単に。
スマホで便利！すっかり忘れがなくなった。

【イベント情報を集約】
様々な体験ができるイベント情報へ簡単にアクセス。
手探りして初めて！楽しみだね。

【オンライン学習の充実】
ひとり一台配布されたパソコンを活用して、コロナ禍でも、オンラインで安心して家庭学習が可能。一人ひとりに寄り添った学習を提供。
家でも安心して勉強できる

(before) → (after)

魅力の発信と人の流れの創出

交流 × デジタル

旅先での情報収集って大変...
自分の興味に合わせたプランがほしい
自然豊かな場所をみたい！

DXパッケージ2022	2023	2024
<ul style="list-style-type: none"> 観光案内所開設 AIチャットボット導入 情報収集・発信強化 県外企業のサテライトオフィス進出促進 ワーケーション・テレワーク促進 		

私たちがの思い
○訪れる前のワクワクを超える旅先での体験やおもてなしを届けたい ○長崎の魅力を知って、実感してもらって、長崎のファンを増やしたい

【スマート観光案内所】
新たに開設する観光案内所では、多言語対応アプリを導入したタブレットで、スムーズな案内が可能。手話通訳ともオンラインでつながり、障害がある方へも最適な観光情報を提供。
オンラインで手話にも対応してもらえた

【情報発信】
AIチャットボットでの観光案内で、サクサク情報検索。旅先でもひとり一人の興味に合わせて、ピンポイントで使える情報を取得。
いろんな情報をもらって、ここでしかできない体験ができた！

【サテライトオフィス・ワーケーション支援】
サテライトオフィスで県外の企業と地場企業の異業種交流が盛んに。また、ワーケーションで長崎の魅力を体感し、移住を決意。
暮らしのように過ごしてみたい、移住を決意できた！

(before) → (after)

スマート市役所の基盤づくり

行政 × デジタル

行政情報の閲覧に楽なのが面倒...
窓口で何度も同じことを書かされる...
窓口で待たされる時間がストレス...

DXパッケージ2022	2023	2024
<ul style="list-style-type: none"> 行政手続きオンライン化 総合窓口システム構築・運用 GISで都市計画図など公開 オンライン相談拡充 契約事務のデジタル化検討 		

私たちがの思い
○行政手続きって何かと時間がかかって面倒くさい、その不満、デジタルで解決！ ○暮らしに、仕事に必要な様々な行政情報を、必要な人に必要な時に届けたい

【行政手続きのオンライン化】
書かない、待たない、行かない。いつでも、どこからでも行政手続きができるように。仕事や用事で平日に時間がない方でもストレスフリーに手続きが可能。
夜中でも手続きできて助かる～

【総合窓口システム】
複数の手続きができ、何度も同じ内容を書かずに済むように。その他の手続きが必要な場合も迷わない。
同じことを何度も書かずに済んで楽々

【公開型GIS】
都市計画決定情報など、様々な行政情報が窓口に来なくても閲覧可能に。忙しい事業者のみならずやさしいサービス。
スマホから道路台帳情報も閲覧できた

(before) → (after)

長崎市DX推進計画

(概要版)



「人」が主役のまちづくりを、デジタル技術で加速させる。

長崎市は、デジタル技術を活用して、「どうすれば、住む人も、訪れる人も、もっと快適で楽しめるまちになるのか。」、利用者のことを第一に考え、市役所の職員も市民も一緒になって、人にやさしい、「人」が主役のまちづくりをすすめます。

〈デジタル化で目指す3つの変化〉



地域の課題が解決され自分らしい暮らしが実現



多様なつながりと新たな体験・価値を実感



一人ひとりにあった利用しやすい行政サービス



2030年の目指す姿と基本方針

計画期間:令和4(2022)年度~令和12(2030)年度

デジタル化の進展にともなう社会変容に的確に対応し、長崎のまちづくりをデジタル化の側面から支えることで、どのようなまちにしたいのか、2030年の長崎市の目指す姿を描き、実現に向けた基本方針を定めました。



基本方針1 情報格差のない暮らしの実現

誰もが自分らしく豊かな生活を送れるまちを目指し、インターネット等のデジタル技術を利用できる人とそうでない人との間に情報格差(デジタル・ディバイド)が生じないよう、誰一人取り残さない、人にやさしいデジタル化を推進します。



主な取組み事例

- 使いたい・使えない人をサポート
- 地域の困りごとをデジタル技術で解決
- デジタル技術で社会参画をサポート など

目指す姿1

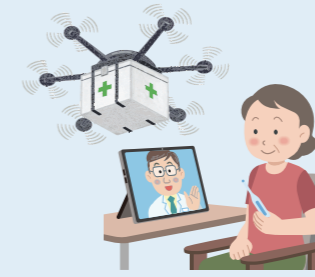
デジタル技術で人と人がつながり、自分らしくいられるまち

目指す姿2

デジタル技術が生活に溶け込み、便利で暮らしやすいまち

基本方針2 暮らしを支える基盤の最適化

様々なヒト・モノ・コトを、デジタル技術でつなげることで、利便性や生産性を向上させ、生活を支える都市機能を最適化し、持続可能なまちを構築します。



主な取組み事例

- 地場企業のDX推進・生産性の向上
- 離島における遠隔診療
- 母子保健サービスのデジタル化 など

基本方針3 活躍の機会を創出

様々なデータを活用できる場を提供するとともに、企業や大学をつなぎ、多様な活躍の機会も創出することで、志を持った誰もが失敗を恐れずに挑戦できる環境をつくります。



主な取組み事例

- 都市OS(データ連携基盤等)の活用
- 最新のテクノロジーに触れる場をつくる
- オープンイノベーションを通じた新規事業の創出支援 など

目指す姿3

データの活用により、新たな産業・サービスが生まれるまち

基本方針4 変化に対応できる人材の育成

次代を担う若者や子どもたちが、変化が激しく、先行きが見通せない不確実な社会を生きる力を身に付けるとともに、その能力を伸ばし、いかに発揮できるよう、学びと成長を支えます。



目指す姿4

次代を担う若者たちが国内外を舞台に活躍するまち

主な取組み事例

- 子どもたち一人ひとりに応じた個別最適な学習の実現
- GIGAスクール構想の環境整備
- 実践的な学びの場の創出 など



目指す姿5

デジタル技術で新たな楽しみ方を創出し、人をひきつけているまち

目指す姿6

行政DXにより、質の高い市民サービスが提供されるまち



基本方針5 まちの魅力向上

デジタル技術により、まちの魅力を磨き上げるとともに、これまでにない体験や楽しさ、過ごしやすさを提供し、国内外の人から選ばれるまちにします。



主な取組み事例

- 県外企業のサテライトオフィス設置支援
- DMOによるデジタルマーケティングや情報収集・発信等の取組み
- 観光AIチャットボットの導入 など



基本方針6 スマート市役所への変革

まちの基盤となる市役所が自ら挑戦し、一人ひとりにあった利用しやすい行政サービスを提供するスマート市役所に変革し、職員でないとできない仕事を充実させていきます。



主な取組み事例

- 行政手続きのオンライン化の推進
- 情報システムの標準化・共通化
- 窓口業務の変革
- 契約事務のデジタル化 など